

令和5年度垂水市市民満足度調査 結果報告書

令和5年11月
垂水市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査の内容	2
4. 調査結果の公表	2
II 調査結果	3
1. 回答者の属性分析	3
2. 政策別分析結果	5
■政策別一覧表	6
■政策別個表の記載説明	7
■政策別個表	
(1) 農業における経営基盤確立による経営規模の拡大	8
(2) 農業における担い手の育成・確保	9
(3) 農業における産品の高付加価値化	10
(4) 林業における多面的機能の増加	11
(5) 水産業における経営基盤確立による経営規模の拡大	12
(6) 水産業における産品の高付加価値化	13
(7) 水産業における所得向上の取組	14
(8) 商工業における市内事業者の育成・支援	15
(9) 観光の振興	16
(10) 市内産業の振興と企業誘致の推進	17
(11) 就労の促進と多様な働き方の支援	18
(12) 子育て環境の整備・支援と母子保健の推進	19
(13) 生きる力を育む質の高い教育の推進と青少年の健全育成	20
(14) 生涯学習・生涯スポーツの推進	21
(15) 歴史民俗文化財や埋蔵文化財の保存・活用と芸術文化活動の推進	22
(16) 健康づくりの推進と医療体制の充実	23
(17) 介護予防、生きがいくりの推進と居宅サービスの充実	24
(18) 障害者等福祉の充実	25
(19) 地域防災力の向上	26
(20) 災害に強い都市基盤の整備	27
(21) 災害後の復旧・復興対策の迅速な対応	28
(22) 安心して暮らせる社会の構築	29
(23) 環境美化の推進	30
(24) 生活排水処理対策と河川、海の水質保全の推進	31
(25) ごみ処理対策の推進	32
(26) 省エネルギー、再生可能エネルギーの推進	33
(27) 快適な居住環境の整備	34
(28) 交通の利便性の向上	35
3. 今後の居住志向	36
4. 令和5年度市民満足度調査総括	39

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市内に在住する18歳以上の市民を対象として、第5次垂水市総合計画前期基本計画に基づく4つ政策と3つの重点プロジェクトについて、「重要度」及び「満足度」を調査し、現在の市民ニーズがどこにあるのかを見極め、今後の市政展開の参考にし、市民主体の行政を実践するための資料とする。

また、今回の調査結果を有意義なものとするため、限られた財源をいかに効果的かつ効率的に資源配分するかなど、各種計画や予算等に反映し、行政サービスに対する市民の満足度が向上するよう努めるものとする。

2 調査の設計

本調査の設計は以下のとおりとする。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	市内在住の18歳以上の市民
③ 対象者数	1,000 人
④ 抽出方法	比例配分法 ※振興会の人数、年代、性別の構成比を考慮し、無作為に抽出
⑤ 調査方法	・無記名調査 ・政策の5段階評価及び自由記述で構成
⑥ 調査期間	令和5年8月28日（月） ～ 9月11日（月） ※ただし、実績としては、10月5日の回収分までをデータ処理の対象とした。

3 調査の内容

(1) 調査の対象

- ① 第5次垂水市総合計画後期基本計画に掲げた4つの政策及び3つの重点プロジェクトに対する「重要度」及び「満足度」
- ② 今後の居住志向（今後も垂水市に住み続けたいと思うか）
- ③ 各政策及び市政全般に対する自由意見

(2) 回答の方法

上記①、②は、それぞれ5段階評価とした。また、上記③については、自由記述とした。

(3) 分析の方法

- ① 回答者の属性分析
回答者の属性について、その割合等を集計する。
- ② 政策別分析
政策別に重要度、満足度、ニーズ値（重要度－満足度の数値）の平均値及びその標準偏差を算出し、全政策との相対的な評価を行う。また、回答者属性ごとにクロス集計を行い、属性項目単位の相対順位等を算出する。
また、自由意見は、政策番号を指定して記入された意見の種別やキーワード等を分類し、その傾向を分析する。
これらの分析結果をもとに考察を行い、最終的に評価結果としてまとめる。
- ③ 第5次垂水市総合計画基本構想「施策の大綱」別分析
同基本構想「施策の大綱」に掲げた「基本目標」及び「重点目標」別に重要度、満足度、ニーズ値の平均値、標準偏差及び相対順位等を算出する。
- ④ 今後の居住志向に対する分析
回答状況及び属性ごとの集計結果を分析し、また、自由意見を整理するなどして、評価・分析まとめを行う。
- ⑤ 令和5年度垂水市市民満足度調査の総括
市民満足度調査結果から見える総括として整理する。なお、従来どおり、前回調査時点における重点政策に対する検証も行う。
- ⑥ 各政策及び市政全般に関する自由意見
記入された意見については、今後の市政運営に対して貴重な意見であることから、意見の原文を、別途「令和5年度市民満足度調査結果報告書 資料集」としてまとめる。

4 調査結果の公表

調査の結果については、本報告書を市役所情報公開室及びホームページにおいて公開する。

II 調査結果

1 回答者の属性分析

(1) 調査方法

今回の市民満足度調査は、対象者数を1,000人とし、対象者の抽出法は「比例配分法」を採用した。

なお、調査票の配布については郵送による配布を行い、回答については同封の返信用封筒による返送もしくはweb回答によるものとした。

(2) 回収数／回収率

今回の回収数（回収率）は、331件（33.1%）となり、令和元年度調査時の892件（89.2%）から561件（56.1%）低下した。

回収数の変動について、前回までは、各地区の振興会長へ調査表の配布と回収を依頼していたが、今回から、郵送による配布を行い、回答については、郵送及びweb回答で対象者へ案内したことが影響していると考えられる。

(3) 各区分の属性分析結果について

① 年齢別：当初設定割合に比べ、若年層と高年層の割合が低くなっている。

区分	配布数（割合）	回答者数（割合）
若年層／18～29歳	82（8.0%）	15（4.5%）
壮年層／30～59歳	403（40.0%）	117（35.3%）
高年層／60歳以上	515（52.0%）	194（58.6%）
未記入等	-	5（1.6%）
合計	1,000（100%）	331（100%）

② 職業別：会社員、パート・アルバイトの割合が高く、学生の割合が低くなっている。

区分	配布数（割合）	回答者数（割合）
会社員	-	70（21.1%）
自営業	-	26（7.9%）
公務員	-	23（6.9%）
農林水産業	-	12（3.6%）
パート・アルバイト	-	51（15.4%）
専業主婦（主夫）	-	46（13.9%）
学生	-	5（1.5%）
無職	-	73（22.1%）
その他	-	18（5.4%）
未記入等	-	7（2.2%）
合計	1,000（100%）	331（100%）

③ 地区別：概ね当初の設定割合どおりとなっている。

区分	配布数（割合）	回答者数（割合）
新城地区	61（6.1%）	24（7.3%）
柁原地区	93（9.3%）	26（7.9%）
垂水地区	519（51.9%）	181（54.7%）
水之上・大野地区	96（9.6%）	28（8.5%）
協和地区	119（11.9%）	34（10.3%）
牛根地区全域	112（11.2%）	34（10.2%）
未記入等	-	4（1.1%）
合計	1,000（100%）	331（100%）

④ 世帯別：夫婦、親子の割合が高く、親・子・孫の割合が低くなっている。

区分	配布数 (割合)	回答者数 (割合)
単身	-	48 (14.5%)
夫婦	-	122 (36.9%)
親子	-	136 (41.1%)
親・子・孫	-	12 (3.6%)
その他	-	9 (2.7%)
未記入等	-	4 (1.2%)
合計	1,000 (100%)	331 (100%)

2 政策別分析結果

第5次垂水市総合計画後期基本計画に掲げている9つの政策を細分化した28政策及び3つのまちづくりの進め方について、政策別に重要度、満足度の平均値及び標準偏差を算出した。

なお、この2つの数値だけでは、市民ニーズが詳細に把握できないことから、ニーズ値として、重要度と満足度の差を設定した。これは、この差が大きいほど、重要度と満足度とのかい離があり、早急な改善や対策等を図る必要性を示したものとしている。

相対評価は、それぞれの政策の重要度と満足度の平均値と全ての重要度と満足度の全体平均値との比較である。

この相対評価の評価指標の説明は次のとおりである。

- ◎Ⅰ：重要度もニーズも高い項目
- ◎Ⅱ：ニーズは高い項目
- ◎Ⅲ：重要度は高い項目
- ◎Ⅳ：重要度もニーズも低い項目

また、評価エリアは、分析結果表内のプロット図にあるように4つのエリアに分け、当該政策の重要度とニーズ値の相関関係を示した。

この4つのエリアの説明は次のとおりである。

- ◎Aエリア：満足度も重要度も高い項目／現在の水準を維持する項目
- ◎Bエリア：満足度は低く、重要度は高い項目／優先して改善の必要がある項目
- ◎Cエリア：満足度は高く、重要度は低い項目／一定の成果がみられる項目
- ◎Dエリア：満足度も重要度も低い項目／現状維持、又はあり方について検討する項目

ニーズ分析は、項目単位・属性単位の相対順位を求めている。

項目単位の数字は、同じカテゴリ内（年齢別、職業別等）におけるニーズ値の順位を表している。

また、属性単位の数字は、その属性内において、当該政策のニーズ値が全政策で何位であるかを示したものである。

これらのデータをもとに考察したデータの傾向を特記事項にまとめている。

自由意見については、政策番号を指定して記入された意見を意見の種別で分類し、また、内容をキーワードに置き換え、その傾向を記した。（なお、意見の詳細は、「資料集」を参照のこと）

評価結果については、これまでの分析結果をもとに今後取り組む政策推進の方向性について、まとめたものである。

標準偏差について

標準偏差は、統計値や確率変数の散らばり具合（ばらつき）を表す数値のひとつ。

例えば、3人の回答が全て同じ回答（全員が3と回答した場合）の平均値は3.0で、標準偏差はばらつきがないので0となるが、3人の回答がそれぞれ「1/3/5」の場合、平均値は同じく3.0であるが、標準偏差は1.63となる。

【政策別一覧表】

NO.	政策名	重要度				満足度				評価 エリア	二一ズ値		相対 評価
		平均値	平均値-全 体平均	相対順 位	標準 偏差	平均値	平均値-全 体平均	相対順 位	標準偏 差		平均値	相対順 位	
1	農業における経営基盤確立による経営規模の拡大	4.255	-0.050	17位	0.788	3.062	-0.120	23位	0.837	D	1.193	8位	II
2	農業における担い手の育成・確保	4.228	-0.078	18位	0.787	3.072	-0.110	21位	0.809	D	1.156	11位	II
3	農業における産品の高付加価値化	4.127	-0.179	23位	0.824	3.075	-0.107	20位	0.818	D	1.052	19位	IV
4	林業における多面的機能の増加	3.991	-0.315	26位	0.879	3.009	-0.173	24位	0.900	D	0.981	22位	IV
5	水産業における経営基盤確立による経営規模の拡大	4.225	-0.080	19位	0.810	3.266	0.084	11位	0.893	C	0.959	23位	IV
6	水産業における産品の高付加価値化	4.176	-0.129	22位	0.835	3.276	0.094	10位	0.845	C	0.901	25位	IV
7	水産業における所得向上の取組	4.034	-0.272	25位	0.863	3.197	0.015	17位	0.854	C	0.837	26位	IV
8	商工業における市内事業者の育成・支援	4.218	-0.087	20位	0.795	3.194	0.012	18位	1.022	C	1.025	21位	IV
9	観光の振興	4.206	-0.100	21位	0.840	3.120	-0.062	19位	0.979	D	1.086	15位	IV
10	市内産業の振興と企業誘致の推進	4.365	0.059	12位	0.767	2.702	-0.481	28位	1.017	B	1.663	1位	I
11	就労の促進と多様な働き方の支援	4.478	0.172	5位	0.703	2.839	-0.344	27位	1.054	B	1.639	2位	I
12	子育て環境の整備・支援と母子保健の推進	4.439	0.133	8位	0.772	3.299	0.117	9位	0.992	A	1.141	13位	I
13	生きる力を育む質の高い教育の推進と青少年の健全育成	4.327	0.021	15位	0.779	3.229	0.047	14位	0.835	A	1.098	14位	III
14	生涯学習・生涯スポーツの推進	3.957	-0.349	27位	0.870	3.208	0.026	15位	0.840	C	0.749	27位	IV
15	歴史民俗文化財や埋蔵文化財の保存・活用と芸術文化活動の推進	3.894	-0.411	28位	0.878	3.331	0.149	6位	0.796	C	0.563	28位	IV
16	健康づくりの推進と医療体制の充実	4.466	0.160	6位	0.738	3.508	0.326	1位	0.984	A	0.958	24位	III
17	介護予防、生きがいつくりの推進と居宅サービスの充実	4.547	0.241	4位	0.659	3.356	0.174	5位	0.957	A	1.191	9位	I
18	障害者等福祉の充実	4.399	0.094	10位	0.766	3.233	0.051	13位	0.901	A	1.166	10位	I
19	地域防災力の向上	4.610	0.305	3位	0.611	3.409	0.227	2位	0.973	A	1.202	7位	I
20	災害に強い都市基盤の整備	4.640	0.334	2位	0.615	3.201	0.018	16位	1.003	A	1.439	4位	I
21	災害後の復旧・復興対策の迅速な対応	4.654	0.349	1位	0.612	3.386	0.204	3位	0.983	A	1.269	6位	I
22	安心して暮らせる社会の構築	4.409	0.103	9位	0.724	3.259	0.077	12位	0.882	A	1.150	12位	I
23	環境美化の推進	4.361	0.055	13位	0.700	3.304	0.122	7位	0.959	A	1.057	18位	III
24	生活排水処理対策と河川、海の水質保全の推進	4.360	0.054	14位	0.674	3.299	0.117	8位	0.845	A	1.061	17位	III
25	ごみ処理対策の推進	4.446	0.140	7位	0.672	3.364	0.182	4位	0.989	A	1.082	16位	III
26	省エネルギー、再生可能エネルギーの推進	4.117	-0.189	24位	0.823	3.068	-0.114	22位	0.797	D	1.049	20位	IV
27	快適な居住環境の整備	4.265	-0.041	16位	0.726	2.947	-0.235	25位	0.904	D	1.317	5位	II
28	交通の利便性の向上	4.366	0.060	11位	0.730	2.885	-0.297	26位	1.036	B	1.481	3位	I
●	全体平均	4.306	-	-	-	3.182	-	-	-	-	1.124	-	-

【政策別個表の記載説明】

1. 農業における政策の目標 規模の拡大

【政策の概要】

政策の方向	①農業施設 ②農産物 ③生産技術	第5次垂水市総合計画における政策の目標や現在取り組んでいる事業を記載している	対策
主な事業	●中山間事業 ●有害鳥獣被害対策事業 ●畜産業経営安定化関連事業		

【分析結果】

各項目5段階評価の平均値

	平均値	標準偏差	相対順位
満足度	3.06	0.84	23/28
重要度	4.26	0.79	17/28
ニーズ値	1.19	—	8/28

回答のバラつき
数値が大きいほどバラつきがある。

28政策のうち何番目か示す順

評価エリア D 現状維持またはあり方を検討する項目 相対評価 II ニーズ値は高いが重要度は低い



ニーズ分析結果	職業あり	今回の調査におけるニーズの分析や評価結果を記載している
評価結果	本市	

1. 農業における経営基盤確立による経営規模の拡大

【政策の概要】

政策の方向	①農業施設等の整備、有害鳥獣による農作物被害防止等に取り組みます。 ②農産物等の商品価値を高める取組を支援します。 ③生産技術向上や生産コスト低減等、経営改善に必要な支援を行います。
主な事業	●中山間地域等直接支払事業 ●農地中間管理事業 ●活動火山周辺地域防災営農対策事業 ●有害鳥獣被害対策事業 ●畜産業経営安定化関連事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.06	0.84	23/28	全体平均値：3.18
重要度		4.26	0.79	17/28	全体平均値：4.31
ニーズ値		1.19	—	8/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値=重要度-満足度
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	II
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
		B		優先して改善の必要あり	A
				現在の水準を維持する	
年齢別	若年層	3	16	<p>高</p> <p>4.90</p> <p>4.80</p> <p>4.70</p> <p>4.60</p> <p>4.50</p> <p>4.40</p> <p>4.30</p> <p>4.20</p> <p>4.10</p> <p>4.00</p> <p>3.90</p> <p>3.80</p> <p>3.70</p> <p>重要度</p> <p>2.70 2.80 2.90 3.00 3.10 3.20 3.30 3.40 3.50 3.60 3.70</p> <p>満足度</p> <p>低</p> <p>高</p> <p>平均値 3.18</p> <p>3.06, 4.26</p> <p>平均値 4.30</p>	
	壮年層	2	18		
	高年層	1	5		
職業別	会社員	8	18		
	自営業	2	9		
	公務員	6	17		
	農林水産業	1	1		
	パート	5	14		
	専業主婦	4	9		
	学生	9	20		
地区別	無職	7	9		
	その他	3	6		
	新城地区	2	8		
	柘原地区	5	6		
	垂水地区	6	15		
世帯構成別	水之上・大野地区	1	4		
	協和地区	3	13		
	牛根地区全域	4	13		
	単身	4	20		
	夫婦	2	7		
	親子	1	12		
	親・子・孫	5	18		
	その他	3	8		
		D		現状維持、又はあり方について検討	C
				一定の成果がみられる	
ニーズ分析結果	職業別では農林水産業、地区別では水之上・大野地区におけるニーズが高くなっており、年齢別では、年齢層が高くなるほどニーズが高くなっている。				
評価結果	本市の基幹産業の一つであることから、ニーズが比較的高く、より満足度を上昇させるために、今後の取組について検討が必要な政策となっている。				

2. 農業における担い手の育成・確保

【政策の概要】

政策の方向	①女性や若者、移住者を含めた後継者、新規就農者の育成・確保に努めます。 ②1次産業の魅力情報を発信し、働く場としての魅力向上に努めます。 ③新たな雇用創出のために農業事業拡大を支援します。
主な事業	●新規就農支援事業 ●担い手育成推進活動支援事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.07	0.81	21/28	全体平均値： 3.18
重要度		4.23	0.79	18/28	全体平均値： 4.31
ニーズ値		1.16	—	11/28	全体平均値： 1.12 ※ニーズ値=重要度-満足度
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	II
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／ 【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
		B		優先して改善の必要あり	A
				現在の水準を維持する	
年齢別	若年層	1	3	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); font-weight: bold; margin-right: 5px;">重要度</div> <div style="text-align: center;"> <div style="margin-bottom: 5px;">高</div> <div style="margin-top: 5px;">低</div> </div> </div>	
	壮年層	2	11		
	高年層	3	13		
職業別	会社員	5	12		
	自営業	8	20		
	公務員	3	11		
	農林水産業	2	7		
	パート	4	9		
	専業主婦	6	16		
	学生	1	2		
	無職	7	11		
その他	9	13			
地区別	新城地区	3	16		
	柘原地区	5	9		
	垂水地区	4	12		
	水之上・大野地区	2	8		
	協和地区	1	17		
牛根地区全域	6	7			
世帯構成別	単身	3	12		
	夫婦	4	16		
	親子	1	10		
	親・子・孫	2	7		
	その他	5	19		
				D	C
				現状維持、又はあり方について検討	一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		各属性において、全体的にニーズ値が高い傾向である。			
評価結果		重要度は低いですが、ニーズ値は比較的高いことから、新たな雇用創出のため、働く場としての魅力向上を行う必要がある。			

3. 農業における産品の高付加価値化

【政策の概要】

政策の方向	①県の農林水産物認証取得の支援を行い、産品の安心安全確保に努めます。 ②新たな技術の導入により、農産物の高品質化を図ります。 ③消費者ニーズを把握した6次産業化を支援により、農産物の高付加価値化を進めます。
主な事業	●6次産業化及び企業農業創出事業 ●食育・地産地消推進事業 ●新規作物推進事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.08	0.82	20/28	全体平均値：3.18
重要度		4.13	0.82	23/28	全体平均値：4.31
ニーズ値		1.05	—	19/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
				B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
年齢別	若年層	3	22		高 4.90 4.80 4.70 4.60 4.50 4.40 4.30 4.20 4.10 4.00 3.90 3.80 3.70 低
	壮年層	1	16		
	高年層	2	17		
職業別	会社員	6	21		
	自営業	5	17		
	公務員	1	7		
	農林水産業	3	18		
	パート	4	12		
	専業主婦	8	26		
	学生	2	8		
地区別	無職	7	17		
	その他	9	18		
	新城地区	4	20		
	柘原地区	3	7		
	垂水地区	5	19		
世帯構成別	水之上・大野地区	2	12		
	協和地区	1	19		
	牛根地区全域	6	18		
	単身	3	16		
	夫婦	5	19		
	親子	2	19		
	親・子・孫	4	11		
	その他	1	7		
				D 現状維持、又はあり方について検討	C 一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		全体的にニーズ値が低い傾向であるが、地区別では、柘原地区、水之上・大野地区において比較的ニーズ値が高い傾向にある。			
評価結果		重要度、満足度がともに低いが、本市の基幹産業の一つであることから、消費者ニーズを的確に把握した6次産業化を支援する必要がある。			

4. 林業における多面的機能の増加

【政策の概要】

政策の方向	①森林の適正管理のため、積極的な整備を関係機関と行います。 ②伐採後の再生林の推進を通じて、森林の持つ多面的な機能の増進を図ります。
主な事業	●間伐実施事業 ●多面的機能支払交付金事業 ●林道整備事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.01	0.90	24/28	全体平均値：3.18
重要度		3.99	0.88	26/28	全体平均値：4.31
ニーズ値		0.98	—	22/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
				B	優先して改善の必要あり
				A	現在の水準を維持する
年齢別	若年層	2	20	<p>高</p> <p>重要度</p> <p>満足度</p> <p>低</p> <p>平均値 3.31</p> <p>平均値 4.12</p> <p>3.01, 3.99</p>	
	壮年層	3	26		
	高年層	1	16		
職業別	会社員	9	26		
	自営業	6	20		
	公務員	3	17		
	農林水産業	2	20		
	パート	7	23		
	専業主婦	4	18		
	学生	1	16		
	無職	5	16		
その他	8	18			
地区別	新城地区	2	11		
	柘原地区	1	3		
	垂水地区	6	25		
	水之上・大野地区	4	22		
	協和地区	3	20		
牛根地区全域	5	17			
世帯構成別	単身	1	7		
	夫婦	2	21		
	親子	3	25		
	親・子・孫	4	14		
	その他	5	26		
				D	現状維持、又はあり方について検討
				C	一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		全体的にニーズ値が低い傾向であるが、地区別では、柘原地区、新城地区において比較的ニーズ値が高い傾向にある。			
評価結果		重要度、満足度がともに低いが、森林が持つ多面的な機能の維持のために、今後もより高い成果が得られるよう取組む必要がある。			

5. 水産業における経営基盤確立による経営規模の拡大

【政策の概要】

政策の方向	①地元の水産業者との連携により国外輸出を推進し、販路の拡充を図ります。 ②国や県の事業を活用し、漁業施設の整備に努めます。
主な事業	●種苗放流事業 ●サメ駆除事業 ●人工種苗購入事業 ●桜島軽石除去事業 ●水産多面的機能発揮対策事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.27	0.89	11/28	全体平均値： 3.18
重要度		4.23	0.81	19/28	全体平均値： 4.31
ニーズ値		0.96	—	23/28	全体平均値： 1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア		C	改善の必要性が低い項目		相対評価 IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目 単位	属性 単位	凡例／ 【項目単位】 数字は項目内での順位 【属性単位】 数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
				B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
年齢別	若年層	2	16	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;">重要度</div> </div>	高 4.90 4.80 4.70 4.60 4.50 4.40 4.30 4.20 4.10 4.00 3.90 3.80 3.70 低
	壮年層	1	21		
	高年層	3	24		
職業別	会社員	4	19		
	自営業	9	25		
	公務員	3	16		
	農林水産業	1	8		
	パート	7	24		
	専業主婦	5	23		
	学生	2	11		
無職	8	24			
その他	6	15			
地区別	新城地区	4	25		
	柘原地区	6	14		
	垂水地区	3	22		
	水之上・大野地区	2	21		
	協和地区	1	24		
牛根地区全域	5	24			
世帯構成別	単身	1	17		
	夫婦	3	24		
	親子	2	22		
	親・子・孫	4	21		
その他	5	22			
					2.70 2.80 2.90 3.00 3.10 3.20 3.30 3.40 3.50 3.60 3.70 満足度
				D 現状維持、又はあり方について検討	C 一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		職業別では、農林水産業におけるニーズが高い。地区別では、柘原地区でニーズ値が高い傾向にある。			
評価結果		重要度は比較的低い傾向にあるが、満足度は高い傾向にあることから、改善の必要性が低いと評価できるが、本市の基幹産業の一つであることから、より高い成果が得られるように取組が必要である。			

6. 水産業における産品の高付加価値化

【政策の概要】

政策の方向	①新たな商品開発等、6次産業化を推進します。 ②認証取得や人工種苗導入等の支援を行い、安全安心な産品の生産を推進します。
主な事業	●水産振興支援事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考	
満足度		3.28	0.84	10/28	全体平均値：3.18	
重要度		4.18	0.83	22/28	全体平均値：4.31	
ニーズ値		0.90	—	25/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値=重要度-満足度	
評価エリア		C	改善の必要性が低い項目		相対評価 IV 重要度もニーズも低い	
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
				B	優先して改善の必要あり	
				A	現在の水準を維持する	
年齢別	若年層	3	28	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;">重要度</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">↑</div> <div style="margin-bottom: 10px;">4.90</div> <div style="margin-bottom: 10px;">4.80</div> <div style="margin-bottom: 10px;">4.70</div> <div style="margin-bottom: 10px;">4.60</div> <div style="margin-bottom: 10px;">4.50</div> <div style="margin-bottom: 10px;">4.40</div> <div style="margin-bottom: 10px;">4.30</div> <div style="margin-bottom: 10px;">4.20</div> <div style="margin-bottom: 10px;">4.10</div> <div style="margin-bottom: 10px;">4.00</div> <div style="margin-bottom: 10px;">3.90</div> <div style="margin-bottom: 10px;">3.80</div> <div style="margin-bottom: 10px;">3.70</div> </div> <div style="margin-left: 5px;">↓</div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">平均値 3.18</div>	
	壮年層	1	23			
	高年層	2	23			
職業別	会社員	4	23			
	自営業	8	24			
	公務員	3	23			
	農林水産業	1	12			
	パート	2	17			
	専業主婦	5	25			
	学生	9	24			
	無職	6	25			
その他	7	21				
地区別	新城地区	6	27			
	柁原地区	5	18			
	垂水地区	4	24			
	水之上・大野地区	3	24			
	協和地区	1	21			
牛根地区全域	2	23				
世帯構成別	単身	1	15			
	夫婦	3	26			
	親子	2	24			
	親・子・孫	4	23			
	その他	5	22			
				低	高	
				満足度		
				D	現状維持、又はあり方について検討	
				C	一定の成果がみられる	
ニーズ分析結果		各属性において、全体的にニーズ値が低い傾向であるが、職業別では、農林水産業におけるニーズ値が高い。				
評価結果		重要度は比較的低い傾向にあるが、満足度は高い傾向にあり、一定の成果が見られるが、引き続き6次産業化を進め本市の特産品を活かし価値を高める必要がある。				

7. 水産業における所得向上の取組

【政策の概要】

政策の方向	①所得向上に向けた計画を確実に実行します。 ②漁業者所得を5年で10%増額させるという計画目標に向けて支援を行います。
主な事業	●販路拡大支援事業

【分析結果】

		平均值	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.20	0.85	17/28	全体平均值：3.18
重要度		4.03	0.86	25/28	全体平均值：4.31
ニーズ値		0.84	—	26/28	全体平均值：1.12 ※ニーズ値=重要度-満足度
評価エリア		C	改善の必要性が低い項目		相対評価 IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目 単位	属性 単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
				B	優先して改善の必要あり
年齢別	若年層	1	19	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;">重要度</div> </div>	高 4.90 4.80 4.70 4.60 4.50 4.40 4.30 4.20 4.10 4.00 3.90 3.80 3.70 低
	壮年層	2	25		
	高年層	3	27		
職業別	会社員	3	24		
	自営業	9	28		
	公務員	2	21		
	農林水産業	1	23		
	パート	4	21		
	専業主婦	5	28		
	学生	8	25		
地区別	無職	6	27		
	その他	7	26		
	新城地区	5	28		
	柘原地区	6	25		
	垂水地区	4	26		
世帯構成別	水之上・大野地区	2	19		
	協和地区	1	27		
	牛根地区全域	3	26		
	単身	2	24		
夫婦	4	27			
親子	1	26			
親・子・孫	5	25			
その他	3	14			
					2.70 2.80 2.90 3.00 3.10 3.20 3.30 3.40 3.50 3.60 3.70 満足度
				D	現状維持、又はあり方について検討
				C	一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		各属性において、全体的にニーズ値が低い傾向である。			
評価結果		重要度とニーズ値が低く、改善の必要性が低い政策と評価できるが、地域資源を活かすという観点から、より高い成果が得られるよう取り組む必要がある。			

8. 商工業における市内事業者の育成・支援

【政策の概要】

政策の方向	①市内事業者の経営安定化に努め、商品開発や付加価値の向上に取り組みます。 ②販路拡大に向けた支援と特産品の積極的なプロモーションに取り組みます。
主な事業	●商工会振興資金利子補給事業 ●プレミアム商品券発行事業 ●特産品販路拡大支援事業 ●空き店舗対策支援事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考	
満足度		3.19	1.02	18/28	全体平均値：3.18	
重要度		4.22	0.80	20/28	全体平均値：4.31	
ニーズ値		1.02	—	21/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度	
評価エリア		C	改善の必要性が低い項目		相対評価 IV 重要度もニーズも低い	
ニーズ分析		項目 単位	属性 単位	凡例／ 【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
				B	優先して改善の必要あり	A
年齢別	若年層	1	10	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;">重要度</div> <div style="margin-right: 5px;">↑</div> <div style="text-align: center;"> <p>高</p> <p>4.90</p> <p>4.80</p> <p>4.70</p> <p>4.60</p> <p>4.50</p> <p>4.40</p> <p>4.30</p> <p>4.20</p> <p>4.10</p> <p>4.00</p> <p>3.90</p> <p>3.80</p> <p>3.70</p> </div> <div style="margin-left: 5px;">↓</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-left: 5px;">低</div> </div>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;">←</div> <div style="text-align: center;"> <p>2.70</p> <p>2.80</p> <p>2.90</p> <p>3.00</p> <p>3.10</p> <p>3.20</p> <p>3.30</p> <p>3.40</p> <p>3.50</p> <p>3.60</p> <p>3.70</p> </div> <div style="margin-left: 5px;">→</div> </div>	
	壮年層	2	14			
	高年層	3	21			
職業別	会社員	3	14			
	自営業	4	16			
	公務員	2	8			
	農林水産業	1	6			
	パート	8	27			
	専業主婦	7	24			
	学生	5	20			
	無職	6	19			
その他	9	25				
地区別	新城地区	4	24			
	柘原地区	3	10			
	垂水地区	5	20			
	水之上・大野地区	2	14			
	協和地区	1	26			
牛根地区全域	6	14				
世帯構成別	単身	2	14			
	夫婦	5	25			
	親子	1	15			
	親・子・孫	3	12			
その他	4	13				
					満足度	
				D	現状維持、又はあり方について検討	
					C	一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		全体的にニーズ値が低い傾向であるが、年齢別にみると、若年層から壮年層にかけてニーズ値が高い傾向にある。				
評価結果		重要度は比較的低い傾向にあるが、満足度は高い傾向にあることから、改善の必要性が低いと評価できるが、今後も社会情勢等に応じた市内事業者の育成・支援を行う必要がある。				

9. 観光の振興

【政策の概要】

政策の方向	① イベントの魅力向上や各種観光事業の充実を図ります。 ② 効果的な情報発信に取り組みます。 ③ 観光拠点の開発・整備を推進し、交流人口の増加に努めます。
主な事業	● しおかぜ街道整備事業 ● ツーリズム推進事業 ● 垂水千本イチョウ園整備事業 ● 大隅広域観光推進事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.12	0.98	19/28	全体平均値：3.18
重要度		4.21	0.84	21/28	全体平均値：4.31
ニーズ値		1.09	—	15/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
				B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
年齢別	若年層	2	8		高 4.90 4.80 4.70 4.60 4.50 4.40 4.30 4.20 4.10 4.00 3.90 3.80 3.70 低
	壮年層	1	7		
	高年層	3	25		
職業別	会社員	3	7		
	自営業	7	19		
	公務員	1	6		
	農林水産業	5	23		
	パート	6	18		
	専業主婦	4	15		
	学生	2	10		
	無職	8	23		
その他	9	17			
地区別	新城地区	4	21		
	柁原地区	6	20		
	垂水地区	3	13		
	水之上・大野地区	2	15		
	協和地区	1	23		
牛根地区全域	5	19			
世帯構成別	単身	2	13		
	夫婦	3	18		
	親子	1	13		
	親・子・孫	4	18		
その他	5	19			
					満足度 2.70 2.80 2.90 3.00 3.10 3.20 3.30 3.40 3.50 3.60 3.70 高
				D 現状維持、又はあり方について検討	C 一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		全体的にニーズ値が低い傾向であるが、年齢別にみると、若年層から壮年層にかけてニーズ値が高い傾向にある。			
評価結果		重要度、満足度がともに比較的低く、ニーズ値も比較的低いことから、現状維持又はあり方について検討が必要であるが、賑わいのあるまちづくりを推進するために情報発信や誘客事業を強化し満足度を高める必要がある。			

10. 市内産業の振興と企業誘致の推進

【政策の概要】

政策の方向	①市内事業者の支援と事業者間連携を推進し、産業の振興に取り組みます。 ②企業誘致の促進、既進出企業へのフォローアップにより、雇用の創出・拡充を図ります。
主な事業	●雇用創出関連事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		2.70	1.02	28/28	全体平均値： 3.18
重要度		4.37	0.77	12/28	全体平均値： 4.31
ニーズ値		1.66	—	1/28	全体平均値： 1.12 ※ニーズ値=重要度-満足度
評価エリア	B	優先して改善を要する項目・		相対評価	I 重要度もニーズも高い・
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
		B	優先して改善の必要あり		A 現在の水準を維持する
年齢別	若年層	3	6	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;">重要度</div> </div>	高 4.90 4.80 4.70 4.60 4.50 4.40 4.30 4.20 4.10 4.00 3.90 3.80 3.70 低
	壮年層	1	3		
	高年層	2	1		
職業別	会社員	5	1		
	自営業	1	1		
	公務員	6	5		
	農林水産業	2	2		
	パート	3	1		
	専業主婦	7	1		
	学生	4	2		
地区別	無職	9	1		
	その他	8	4		
	新城地区	4	1		
	柁原地区	2	1		
	垂水地区	5	2		
世帯構成別	水之上・大野地区	3	2		
	協和地区	1	5		
	牛根地区全域	6	1		
	単身	5	1		
夫婦	4	1			
親子	2	2			
親・子・孫	1	2			
その他	3	1			
				満足度	
				D 現状維持、又はあり方について検討	C 一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		全ての項目、属性においてニーズが非常に高い傾向にある。			
評価結果		満足度が低く、ニーズ値が全体的に高いため、企業誘致の促進や雇用創出・拡充を優先して改善する必要がある。			

11. 就労の促進と多様な働き方の支援

【政策の概要】

政策の方向	①関係機関と情報共有を図り、就労しやすい環境づくりを支援します。 ②資格取得や技術習得を支援し、人材育成を促進します。 ③市内で需要の高い職種を把握し、事業者と人材のマッチングにつなげます。 ④高校生の市内での就職に向けて、市内事業者の特長等について周知を行います。
主な事業	●地方創生関連事業 ●垂水市地域若者「就地」拡大プロジェクト事業 ●公営社団法人垂水市シルバー人材センター補助事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		2.84	1.05	27/28	全体平均値： 3.18
重要度		4.48	0.70	5/28	全体平均値： 4.31
ニーズ値		1.64	—	2/28	全体平均値： 1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア		B	優先して改善を要する項目・		相対評価 I 重要度もニーズも高い・
ニーズ分析		項目 単位	属性 単位	凡例／ 【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
		B 優先して改善の必要あり		A 現在の水準を維持する	
年齢別	若年層	2	1		
	壮年層	1	1		
高年層	3	2			
職業別	会社員	5	2		
	自営業	2	2		
	公務員	1	1		
	農林水産業	6	5		
	パート	7	2		
	専業主婦	8	2		
	学生	4	4		
	無職	9	3		
その他	3	1			
地区別	新城地区	4	3		
	柁原地区	5	2		
	垂水地区	3	1		
	水之上・大野地区	2	1		
	協和地区	1	7		
牛根地区全域	6	2			
世帯構成別	単身	5	3		
	夫婦	3	2		
	親子	2	1		
	親・子・孫	1	1		
	その他	4	5		
				D 現状維持、又はあり方について検討	
				C 一定の成果がみられる	
ニーズ分析結果		全ての項目、属性においてニーズが非常に高い傾向にある。			
評価結果		満足度が低く、ニーズ値が全体的に高いため、各世代に応じた就労環境づくりを整備し、人材育成を含めた雇用創出・拡充が必要である。			

12. 子育て環境の整備・支援と母子保健の推進

【政策の概要】

政策の方向	①産前・産後の医療・相談体制の拡充に努めます。 ②母と子の保健・医療の充実を図りつつ、心理的・経済的負担の軽減を図ります。 ③保護者、地域、学校ぐるみで、見守り・子育ての環境づくりを進めます。
主な事業	●病児・病後児保育事業 ●特別保育事業 ●子育て支援センター事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考	
満足度		3.30	0.99	9/28	全体平均値： 3.18	
重要度		4.44	0.77	8/28	全体平均値： 4.31	
ニーズ値		1.14	—	13/28	全体平均値： 1.12 ※ニーズ値=重要度-満足度	
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目・		相対評価	I	重要度もニーズも高い・
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／ 【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
		B	優先して改善の必要あり		A	現在の水準を維持する
年齢別	若年層	1	2	高 4.90 4.80 4.70 4.60 4.50 4.40 4.30 4.20 4.10 4.00 3.90 3.80 3.70 低		
	壮年層	2	9			
	高年層	3	20			
職業別	会社員	5	8			
	自営業	6	14			
	公務員	4	13			
	農林水産業	3	11			
	パート	1	3			
	専業主婦	7	21			
	学生	2	11			
地区別	無職	8	18			
	その他	9	21			
	新城地区	2	9			
	柘原地区	6	23			
	垂水地区	4	11			
世帯構成別	水之上・大野地区	3	8			
	協和地区	1	21			
	牛根地区全域	5	6			
	単身	3	18			
	夫婦	4	15			
	親子	2	11			
	親・子・孫	1	5			
	その他	5	17			
		D	現状維持、又はあり方について検討		C	一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		全体的にニーズ値が高い傾向であるが、年齢別にみると、若年層から壮年層にかけてニーズ値が高い傾向にある。				
評価結果		重要度もニーズ値も高く、満足度も比較的高いことから、現在の水準を維持するとともに、引き続き、子育て環境の整備・支援と母子保健の推進を進める必要がある。				

13. 生きる力を育む質の高い教育の推進と青少年の健全育成

【政策の概要】

政策の方向	①子どもの生きる力を育むため、自ら学び磨き高めあう授業づくりに努めます。 ②安全安心な教育環境と、教育内容に応じた教具・教材、ICT関連整備の充実を図ります。 ③経済面での支援及び、情報発信によるイメージアップにより、垂水高校支援を行います。
主な事業	●放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ） ●垂水高校振興対策事業 ●特別支援教育支援員設置事業 ●スクールカウンセラー派遣事業 ●たるたる奨学金 ●青少年海外派遣事業夢の翼

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考		
満足度		3.23	0.83	14/28	全体平均値：3.18		
重要度		4.33	0.78	15/28	全体平均値：4.31		
ニーズ値		1.10	—	14/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度		
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目		相対評価	Ⅲ 重要度は高いがニーズは低い		
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す			
		B	優先して改善の必要あり		A	現在の水準を維持する	
年齢別	若年層	1	4	<p>高</p> <p>平均値 3.18</p> <p>3.23, 4.33</p> <p>平均値 4.30</p> <p>低</p> <p>満足度</p>			
	壮年層	2	15				
	高年層	3	18				
	職業別	会社員	7		19		
		自営業	4		11		
		公務員	6		22		
		農林水産業	3		16		
		パート	2		6		
		専業主婦	5		17		
		学生	1		11		
		無職	8		15		
	その他	9	21				
地区別	新城地区	1	12				
	柁原地区	6	19				
	垂水地区	3	14				
	水之上・大野地区	4	18				
	協和地区	2	18				
牛根地区全域	5	15					
世帯構成別	単身	1	9				
	夫婦	4	17				
	親子	2	14				
	親・子・孫	3	9				
その他	5	22					
		D	現状維持、又はあり方について検討		C	一定の成果がみられる	
ニーズ分析結果		年齢別では若年層においてニーズが高く、世帯構成別で見ると、単身、親・子・孫、親子世帯において比較的ニーズが高い傾向にある。					
評価結果		重要度及び満足度が高く、ニーズ値が比較的低いことから、現在の水準を維持するとともに、引き続き、生きる力を育む質の高い教育の推進と青少年の健全育成に取り組む必要がある。					

14. 生涯学習・生涯スポーツの推進

【政策の概要】

政策の方向	①生涯学習、スポーツ・レクリエーション活動、社会・生活・自然体験事業を進めるための環境整備を行います。 ②幅広い年代が、生きがいや健康づくりに取り組める環境づくりや、地域の交流の場へ参加しやすい仕組みづくりを進めます。
主な事業	●市民館・地区公民館運営管理事業 ●市立図書館運営事業 ●垂水市人権同和教育事業 ●生涯学習事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.21	0.84	15/28	全体平均値：3.18
重要度		3.96	0.87	27/28	全体平均値：4.31
ニーズ値		0.75	—	27/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	C	改善の必要性が低い項目			相対評価 IV 重要度もニーズも低い

ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／	
				【項目単位】	数字は項目内での順位
				【属性単位】	数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す
				B	優先して改善の必要あり
				A	現在の水準を維持する

属性	項目	項目単位	属性単位	重要度	満足度
年齢別	若年層	2	26		
	壮年層	3	27		
	高年層	1	26		
職業別	会社員	7	27		
	自営業	6	27		
	公務員	8	27		
	農林水産業	1	25		
	パート	3	26		
	専業主婦	2	22		
	学生	9	28		
	無職	5	26		
地区別	新城地区	1	18		
	柵原地区	6	28		
	垂水地区	5	27		
	水之上・大野地区	3	26		
	協和地区	4	24		
	牛根地区全域	2	27		
世帯構成別	単身	3	27		
	夫婦	1	23		
	親子	4	27		
	親・子・孫	5	26		
	その他	2	15		

		D	C
		現状維持、又はあり方について検討	一定の成果がみられる

ニーズ分析結果	各属性において、全体的にニーズ値が低い傾向である。
評価結果	重要度は比較的低い傾向にあるが、満足度は高い傾向にあることから、改善の必要性が低いと評価できる。今後も引き続き、幅広い年齢層に応じた生涯学習・生涯スポーツ推進に取り組む必要がある。

15. 歴史民俗文化財や埋蔵文化財の保存・活用と芸術文化活動の推進

【政策の概要】

政策の方向	①伝統芸能・行事、文化財等を生かしたまちづくりを進めます。 ②文化財等の保存・活用を図るため、文化的価値を広く周知します。 ③文化財等の保存・活用のため、地域や市民、事業者等による支援体制の構築を図ります。 ④多くの市民が文化・芸術へ触れることができるよう、周知・広報を充実します。 ⑤新たな文化・芸術活動を発掘し、創造への支援を行います。 ⑥文化・芸術活動への子どもや若者の参加促進を図ります。
主な事業	●瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクール事業 ●指定文化財・埋蔵文化財事業 ●文化振興事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.33	0.80	6/28	全体平均値：3.18
重要度		3.89	0.88	28/28	全体平均値：4.31
ニーズ値		0.56	—	28/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア		C	改善の必要性が低い項目		相対評価 IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
				B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
年齢別	若年層	2	27	<p style="text-align: center;">高</p> <p style="text-align: center;">平均値 3.18</p> <p style="text-align: right;">平均値 4.30</p> <p style="text-align: center;">3.33, 3.89</p> <p style="text-align: center;">満足度</p> <p style="text-align: center;">低 高</p>	
	壮年層	3	28		
高年層	1	28			
職業別	会社員	7	28		
	自営業	4	26		
	公務員	9	28		
	農林水産業	2	26		
	パート	6	28		
	専業主婦	3	27		
	学生	1	20		
	無職	8	28		
その他	5	27			
地区別	新城地区	1	26		
	柁原地区	4	27		
	垂水地区	6	28		
	水之上・大野地区	5	28		
	協和地区	2	28		
	牛根地区全域	3	28		
世帯構成別	単身	3	28		
	夫婦	1	28		
	親子	2	28		
	親・子・孫	5	27		
	その他	4	28		
ニーズ分析結果		各属性において、全体的にニーズ値が低い傾向である。			
評価結果		重要度及びニーズ値が低く、満足度が高いことから、改善の必要性が低いとされる取組である。			

16. 健康づくりの推進と医療体制の充実

【政策の概要】

政策の方向	①特定健診や特定保健指導等を利用しやすい体制づくりを推進します。 ②食事や運動を活用した健康づくりを推進します。 ③保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づいて、健診結果等を活用した生活習慣病の対策を進めます。 ④市民が安心して地域で医療・介護が受けられるよう、地域にあった医療体制を確保します。
主な事業	●たるみず元気プロジェクト ●特定健診事業 ●感染症予防事業 ●母子保健事業 ●健康増進事業 ●不妊治療助成事業 ●垂水中央病院管理運営事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
満足度		3.51	0.98	1/28	全体平均値：3.18
重要度		4.47	0.74	6/28	全体平均値：4.31
ニーズ値		0.96	—	24/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目		相対評価	Ⅲ 重要度は高いがニーズは低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
				B	優先して改善の必要あり
年齢別	若年層	3	25		高 4.90 4.80 4.70 4.60 4.50 4.40 4.30 4.20 4.10 4.00 3.90 3.80 3.70 低
	壮年層	1	21		
	高年層	2	22		
職業別	会社員	1	11		
	自営業	4	20		
	公務員	3	20		
	農林水産業	7	28		
	パート	5	22		
	専業主婦	2	14		
	学生	8	26		
	無職	6	22		
	その他	9	28		
地区別	新城地区	4	22		
	柁原地区	6	22		
	垂水地区	5	23		
	水之上・大野地区	2	17		
	協和地区	3	10		
	牛根地区全域	1	25		
世帯構成別	単身	4	26		
	夫婦	3	22		
	親子	1	21		
	親・子・孫	2	13		
	その他	5	25		
ニーズ分析結果		全体的にニーズ値が低い傾向であるが、地区別では、協和地区においてニーズが比較的高い傾向にある。			
評価結果		重要度は高いが、ニーズ値は比較的低く、満足度は非常に高いことから、たるみず元気プロジェクトを中心とした事業に対して、高い評価がみられる。今後も現在の水準を維持できるよう、各種事業に取り組む必要がある。			

17. 介護予防、生きがいの推進と居宅サービスの充実

【政策の概要】

政策の方向	①高齢者が地域で安心していきいきと生活できるよう地域での見守り・助け合いの活動を支援します。 ②高齢者の積極的な社会参加を促します。 ③誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう居宅サービスの確保や施設の充実を図ります。
主な事業	●垂水市社会福祉協議会補助事業 ●在宅福祉事業 ●老人保護措置事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.36	0.96	5/28	全体平均値：3.18
重要度		4.55	0.66	4/28	全体平均値：4.31
ニーズ値		1.19	—	9/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目・			相対評価
					I
		重要度もニーズも高い・			
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
		B	優先して改善の必要あり		
		A	現在の水準を維持する		
年齢別	若年層	3	24	高 4.90 4.80 4.70 4.60 4.50 4.40 4.30 4.20 4.10 4.00 3.90 3.80 3.70 低	満足度 2.70 2.80 2.90 3.00 3.10 3.20 3.30 3.40 3.50 3.60 3.70 高
	壮年層	1	10		
	高年層	2	8		
職業別	会社員	4	10		
	自営業	6	15		
	公務員	2	14		
	農林水産業	5	21		
	パート	3	8		
	専業主婦	1	8		
	学生	9	26		
地区別	無職	7	6		
	その他	8	10		
	新城地区	1	7		
	柁原地区	6	14		
	垂水地区	5	9		
	水之上・大野地区	3	7		
世帯構成別	協和地区	2	11		
	牛根地区全域	4	10		
	単身	3	23		
	夫婦	2	8		
	親子	1	8		
	親・子・孫	5	20		
	その他	3	11		
		D	現状維持、又はあり方について検討		
		C	一定の成果がみられる		
ニーズ分析結果		全体的にニーズ値が高く、地区別で見ると、全ての地区においてニーズ値が高い傾向にある。			
評価結果		重要度もニーズ値も高く、満足度も比較的高いことから、現在の水準を維持する政策となっている。今後も現在の水準を維持できるよう、各種事業に取り組む必要がある。			

18. 障害者等福祉の充実

【政策の概要】

政策の方向	①障がい福祉サービスの提供体制や相談支援体制の充実を図り、障がい者（児）等の社会参加の促進や家族の負担軽減を目指します。 ②障がい者等の就業機会の確保に努めるとともに、就労環境の整備・充実を図ります。
主な事業	●障害者等の就労移行支援 ●障害児に対する支援事業 ●地域支援事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考		
満足度		3.23	0.90	13/28	全体平均値： 3.18		
重要度		4.40	0.77	10/28	全体平均値： 4.31		
ニーズ値		1.17	—	10/28	全体平均値： 1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度		
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目・			相対評価		
					I		
		重要度もニーズも高い・					
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／ 【項目単位】 数字は項目内での順位 【属性単位】 数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す			
		B	優先して改善の必要あり			A	現在の水準を維持する
年齢別	若年層	1	13	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); font-weight: bold; margin-right: 5px;">重要度</div> <div style="text-align: center;"> <div style="font-weight: bold; margin-bottom: 5px;">高</div> <div style="font-weight: bold; margin-top: 5px;">低</div> </div> </div>	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">平均値 3.18</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">3.23, 4.40</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; position: absolute; right: 0; bottom: 0;">平均値 4.30</div> </div>		
	壮年層	2	13				
	高年層	3	9				
職業別	会社員	6	14				
	自営業	3	12				
	公務員	5	17				
	農林水産業	9	26				
	パート	4	10				
	専業主婦	1	4				
	学生	2	11				
無職	7	14					
その他	8	14					
地区別	新城地区	2	15				
	柘原地区	6	13				
	垂水地区	3	7				
	水之上・大野地区	5	20				
	協和地区	4	8				
牛根地区全域	1	22					
世帯構成別	単身	2	6				
	夫婦	4	9				
	親子	3	16				
	親・子・孫	1	6				
その他	5	26					
				D	現状維持、又はあり方について検討	C	一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		全体的にニーズ値が高く、年齢別で見ると、全ての年齢層においてニーズ値が高い傾向にある。					
評価結果		重要度もニーズ値も高く、満足度も比較的高いことから、現在の水準を維持する政策となっている。今後も現在の水準を維持できるよう、各種事業に取り組む必要がある。					

19. 地域防災力の向上

【政策の概要】

政策の方向	①災害発生時における、地域の自助・共助（互助）意識の醸成に努めます。 ②災害発生時における、行政、振興会、自主防災組織、関係機関の連携体制の強化を図ります。
主な事業	●防災訓練の実施事業 ●防災活動等事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考		
満足度		3.41	0.97	2/28	全体平均値：3.18		
重要度		4.61	0.61	3/28	全体平均値：4.31		
ニーズ値		1.20	—	7/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度		
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目・		相対評価	I	重要度もニーズも高い・	
ニーズ分析		項目 単位	属性 単位	凡例／ 【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す			
				B	優先して改善の必要あり	A	現在の水準を維持する
年齢別	若年層	3	23	高 ↑ 重要度 ↓ 低			
	壮年層	1	6				
	高年層	2	11				
職業別	会社員	3	5				
	自営業	2	7				
	公務員	1	4				
	農林水産業	4	13				
	パート	5	11				
	専業主婦	6	13				
	学生	8	23				
	無職	7	20				
その他	9	21					
地区別	新城地区	1	4				
	柁原地区	6	21				
	垂水地区	5	10				
	水之上・大野地区	4	13				
	協和地区	3	4				
	牛根地区全域	2	12				
世帯構成別	単身	2	10				
	夫婦	3	13				
	親子	1	6				
	親・子・孫	4	21				
	その他	5	16				
				D	現状維持、又はあり方について検討	C	一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		全体的にニーズ値が高く、世帯構成別で見ると、単身、夫婦、親子においてニーズ値が高い傾向にある。					
評価結果		重要度もニーズ値も高く、満足度も比較的高いことから、現在の水準を維持する政策となっている。全国的にも多くの災害が発生しており、市民の防災意識も向上していることから、引き続き、現在の取組を継続する必要がある。					

20. 災害に強い都市基盤の整備

【政策の概要】

政策の方向	①災害時における様々な資材・機材の備蓄や防災施設の維持・更新に取り組みます。 ②危険箇所の把握に努め、防災、減災に取り組みます。 ③住宅や公共・民間建築物の耐震性の向上に取り組みます。
主な事業	●防災情報システム整備事業 ●避難行動要支援者名簿作成事業 ●砂防事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考			
満足度		3.20	1.00	16/28	全体平均値：3.18			
重要度		4.64	0.61	2/28	全体平均値：4.31			
ニーズ値		1.44	—	4/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値=重要度-満足度			
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目・		相対評価	I	重要度もニーズも高い・		
ニーズ分析		項目 単位	属性 単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す				
				B	優先して改善の必要あり	A	現在の水準を維持する	
年齢別	若年層	3	14	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;">重要度</div> <div style="text-align: center;"> </div> </div>	高		平均値 3.18	
	壮年層	1	4		4.90			
	高年層	2	3		4.80			
職業別	会社員	3	4		4.70		3.20, 4.64	
	自営業	5	5		4.60			
	公務員	2	3		4.50			
	農林水産業	1	3		4.40			
	パート	8	7		4.30		平均値 4.30	
	専業主婦	4	6		4.20			
	学生	6	8		4.10			
地区別	無職	9	5		4.00			
	その他	7	2		3.90			
	新城地区	4	5		3.80			
	柁原地区	6	8	3.70				
	垂水地区	3	4	2.70				
世帯構成別	水之上・大野地区	5	6	2.80				
	協和地区	2	1	2.90				
	牛根地区全域	1	5	3.00				
	単身	3	2	3.10				
	夫婦	4	3	3.20				
その他	親子	2	4	3.30				
	親・子・孫	1	4	3.40				
	その他	5	9	3.50				
				低		高		
				満足度				
				D	現状維持、又はあり方について検討	C	一定の成果がみられる	
ニーズ分析結果		全ての項目、属性においてニーズが非常に高い傾向にある。						
評価結果		重要度もニーズ値も高く、満足度も比較的高いことから、現在の水準を維持する政策となっている。今後も引き続き、災害に強い都市基盤の整備を継続する必要がある。						

21. 災害後の復旧・復興対策の迅速な対応

【政策の概要】

政策の方向	①市道や農道等の早急な復旧・復興に取り組みます。 ②被災箇所に対して関係機関と連携し復旧・復興に取り組みます。 ③ライフラインを供給できるよう物資を確保し、施設等の早急な復旧・復興に取り組みます。 ④住宅が倒壊した市民等に安心して暮らせる仮設住宅等を提供できるよう取り組みます。
主な事業	●治山事業 ●急傾斜崩壊対策事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考		
満足度		3.39	0.98	3/28	全体平均値：3.18		
重要度		4.65	0.61	1/28	全体平均値：4.31		
ニーズ値		1.27	—	6/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度		
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目・		相対評価	I	重要度もニーズも高い・	
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す			
				B	優先して改善の必要あり	A	現在の水準を維持する
年齢別	若年層	3	15				
	壮年層	1	8				
	高年層	2	6				
職業別	会社員	5	6				
	自営業	4	8				
	公務員	2	10				
	農林水産業	7	22				
	パート	9	19				
	専業主婦	1	5				
	学生	3	11				
	無職	8	7				
その他	6	7					
地区別	新城地区	6	19				
	柁原地区	5	5				
	垂水地区	4	6				
	水之上・大野地区	2	5				
	協和地区	3	3				
牛根地区全域	1	9					
世帯構成別	単身	1	4				
	夫婦	3	6				
	親子	2	9				
	親・子・孫	5	10				
	その他	4	9				
				D	現状維持、又はあり方について検討	C	一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		全体的にニーズ値が高く、全ての世帯構成において、ニーズ値が高い傾向にある。					
評価結果		重要度もニーズ値も高く、満足度も比較的高いことから、現在の水準を維持する政策となっている。特に重要度が高いことから、今後も迅速な災害への対応が必要となる。					

22. 安心して暮らせる社会の構築

【政策の概要】

政策の方向	①交通安全意識の高揚と交通マナーの向上に向け、交通安全対策を推進します。 ②消費者被害の防止と救済のため、相談体制を充実し、情報ネットワークの活用を進めます。 ③市民の防災意識の高揚や、災害対応能力の向上に努めます。 ④消防団への加入促進や消防団組織活動の強化に努めます。
主な事業	●交通事故防止対策事業 ●防犯対策事業 ●交通災害共済事業 ●消防団員適正化事業 ●消防本部車両整備事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.26	0.88	12/28	全体平均値：3.18
重要度		4.41	0.72	9/28	全体平均値：4.31
ニーズ値		1.15	—	12/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目・		相対評価	I 重要度もニーズも高い・
ニーズ分析		項目 単位	属性 単位	凡例／ 【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
				B 優先して改善の必要あり	A 現在の水準を維持する
年齢別	若年層	1	10	<p style="text-align: center;">高</p> <p style="text-align: center;">平均値 3.18</p> <p style="text-align: center;">3.26, 4.41</p> <p style="text-align: right;">平均値 4.30</p> <p style="text-align: center;">低</p> <p style="text-align: center;">満足度</p> <p style="text-align: center;">高</p>	
	壮年層	2	12		
	高年層	3	12		
職業別	会社員	4	9		
	自営業	9	23		
	公務員	3	15		
	農林水産業	2	9		
	パート	8	15		
	専業主婦	5	10		
地区別	学生	1	6		
	無職	6	10		
	その他	6	11		
	新城地区	2	13		
	柘原地区	6	12		
世帯構成別	垂水地区	3	8		
	水之上・大野地区	5	23		
	協和地区	1	15		
	牛根地区全域	4	11		
世帯構成別	単身	3	8		
	夫婦	4	20		
	親子	2	7		
	親・子・孫	5	16		
	その他	1	6		
				D 現状維持、又はあり方について検討	C 一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		全体的にニーズ値が高く、全ての年齢層において、ニーズ値が高い傾向にある。			
評価結果		重要度もニーズ値も高く、満足度も比較的高いことから、現在の水準を維持する政策となっている。今後も引き続き、市民が安心して暮らせる社会の構築を目指した取り組みを行う必要がある。			

23. 環境美化の推進

【政策の概要】

政策の方向	①美しい自然環境保全に向け、ごみの不法投棄を防止し、市民の環境美化に関する意識の向上と活動の推進を図ります。
主な事業	●垂水市地球温暖化防止実行計画推進事業 ●環境センター維持管理事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.30	0.96	7/28	全体平均値： 3.18
重要度		4.36	0.70	13/28	全体平均値： 4.31
ニーズ値		1.06	—	18/28	全体平均値： 1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目・		相対評価	Ⅲ 重要度は高いがニーズは低い
ニーズ分析		項目 単位	属性 単位	凡例／ 【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
				B	A
				優先して改善の必要あり	現在の水準を維持する
年齢別	若年層	2	18	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;">重要度</div> <div style="text-align: center;"> <p>高</p> <p>低</p> </div> </div>	<p style="text-align: center;">満足度</p> <p style="text-align: right;">高</p>
	壮年層	3	24		
	高年層	1	10		
職業別	会社員	7	25		
	自営業	2	6		
	公務員	9	25		
	農林水産業	3	13		
	パート	8	25		
	専業主婦	6	19		
	学生	1	6		
地区別	無職	4	2		
	その他	5	12		
	新城地区	1	5		
	柁原地区	5	17		
	垂水地区	4	18		
世帯構成別	水之上・大野地区	6	27		
	協和地区	2	11		
	牛根地区全域	3	15		
	単身	4	19		
夫婦	2	12			
親子	3	20			
親・子・孫	5	28			
その他	1	3			
ニーズ分析結果		年齢別では高齢層においてニーズ値が高く、地区別では、新城地区、協和地区においてニーズ値が高い傾向にある。			
評価結果		重要度と満足度が比較的高く、ニーズ値は比較的低いことから、今後も現在の水準を維持していく必要がある。			

24. 生活排水処理対策と河川、海の水質保全の推進

【政策の概要】

政策の方向	①合併処理浄化槽設置の支援と普及を促進します。 ②生活排水の適正な処理の重要性について市民へ向けた啓発活動を推進します。
主な事業	● 錦江湾クリーンアップ作戦事業 ● 潮彩町排水処理施設維持管理事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.30	0.85	8/28	全体平均値： 3.18
重要度		4.36	0.67	14/28	全体平均値： 4.31
ニーズ値		1.06	—	17/28	全体平均値： 1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目・			相対評価 III 重要度は高いがニーズは低い
ニーズ分析		項目 単位	属性 単位	凡例／ 【項目単位】 数字は項目内での順位 【属性単位】 数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
		B	優先して改善の必要あり		
		A	現在の水準を維持する		
年齢別	若年層	3	21	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;">重要度</div> </div>	<div style="text-align: center;"> 平均値 3.18 満足度 </div>
	壮年層	1	20		
	高年層	2	14		
職業別	会社員	5	16		
	自営業	2	10		
	公務員	9	26		
	農林水産業	1	9		
	パート	7	20		
	専業主婦	4	12		
	学生	3	16		
	無職	6	13		
その他	8	16			
地区別	新城地区	2	17		
	柁原地区	6	26		
	垂水地区	5	17		
	水之上・大野地区	1	10		
	協和地区	3	14		
牛根地区全域	4	20			
世帯構成別	単身	3	20		
	夫婦	1	10		
	親子	2	23		
	親・子・孫	5	23		
その他	4	18			
		D	現状維持、又はあり方について検討		
		C	一定の成果がみられる		
ニーズ分析結果		職業別にみると、農林水産業、自営業においてニーズ値が高く、地区別では、水之上・大野地区、牛根地区においてニーズ値が高い傾向にある。			
評価結果		重要度と満足度が比較的高く、ニーズ値は比較的低いことから、今後も現在の水準を維持していく必要がある。			

25. ごみ処理対策の推進

【政策の概要】

政策の方向	①ごみの分別方法の周知等を更に推進し、ごみの排出抑制と再資源化に努めます。
主な事業	●ごみ資源化率向上対策事業 ●ごみ不法投棄防止事業 ●浄化槽設置整備事業

【分析結果】

		平均值	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.36	0.99	4/28	全体平均值：3.18
重要度		4.45	0.67	7/28	全体平均值：4.31
ニーズ値		1.08	—	16/28	全体平均值：1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	A	現在の水準を維持する項目・			相対評価 III 重要度は高いがニーズは低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
		B 優先して改善の必要あり			A 現在の水準を維持する
年齢別	若年層	1	6	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); font-weight: bold;">重要度</div> <div style="margin-left: 10px;"> <p style="text-align: center;">高</p> <p style="text-align: center;">低</p> <p style="text-align: center;">満足度</p> <p style="text-align: center;">高</p> </div> </div>	
	壮年層	2	17		
	高年層	3	15		
職業別	会社員	6	17		
	自営業	2	13		
	公務員	9	24		
	農林水産業	1	15		
	パート	4	13		
	専業主婦	8	19		
	学生	3	18		
	無職	7	12		
その他	5	9			
地区別	新城地区	1	14		
	柁原地区	6	24		
	垂水地区	5	16		
	水之上・大野地区	3	16		
	協和地区	2	16		
牛根地区全域	4	21			
世帯構成別	単身	5	25		
	夫婦	1	11		
	親子	2	17		
	親・子・孫	4	16		
	その他	3	11		
		D 現状維持、又はあり方について検討			C 一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		職業別にみると、その他及び無職の属性においてニーズが高く、世帯構成別にみると、夫婦、その他の属性においてニーズ値が高い傾向にある。			
評価結果		重要度と満足度が比較的高く、ニーズ値は比較的低いことから、今後も現在の水準を維持していく必要がある。			

26. 省エネルギー、再生可能エネルギーの推進

【政策の概要】

政策の方向	①省エネルギーや、再生可能エネルギーに関する情報把握に努めます。 ②市民や事業者のエネルギーに対する理解や意識の向上に努めます。 ③省再生可能エネルギーに関連する設備導入を推進し、市民生活への普及を図ります。
主な事業	●省・再生可能エネルギー普及促進事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		3.07	0.80	22/28	全体平均値：3.18
重要度		4.12	0.82	24/28	全体平均値：4.31
ニーズ値		1.05	—	20/28	全体平均値：1.12 ※ニーズ値＝重要度－満足度
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	IV 重要度もニーズも低い
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
				B	優先して改善の必要あり
				A	現在の水準を維持する
年齢別	若年層	1	10	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;">重要度</div> <div style="text-align: center;"> <p>高</p> <p>低</p> </div> </div>	満足度
	壮年層	2	19		
	高年層	3	19		
職業別	会社員	8	22		
	自営業	7	18		
	公務員	1	12		
	農林水産業	2	17		
	パート	6	16		
	専業主婦	5	11		
	学生	4	18		
	無職	9	21		
その他	3	8			
地区別	新城地区	3	23		
	柘原地区	4	11		
	垂水地区	5	21		
	水之上・大野地区	6	25		
	協和地区	1	9		
牛根地区全域	2	7			
世帯構成別	単身	3	22		
	夫婦	2	14		
	親子	1	18		
	親・子・孫	4	15		
その他	5	19			
				D	現状維持、又はあり方について検討
				C	一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		全体的にニーズ値が低い傾向であるが、年齢別で見ると、若年層においてニーズ値が高い傾向にある。			
評価結果		重要度及びニーズ値が低いが、省エネルギー、再生可能エネルギー政策については、世界的に抱える問題であることから、今後も推進を行う必要がある。			

27. 快適な居住環境の整備

【政策の概要】

政策の方向	①既存住宅の耐震性向上を図ります。 ②多様なニーズに対応した快適で利用しやすい公園の整備・維持管理に努めます。 ③空き家の発生を抑制するため、空き家の所有者に対して適正管理を促します。 ④利用できる空き家は、空き家バンクへの登録を進め、移住・定住推進に活用します。 ⑤公共施設の老朽化に伴い、機能強化を図るとともに、総コストの縮減・平準化に努めます。 ⑥耐用年限を超過し、老朽化が著しい公営住宅の建替えによる安全性確保に努めます。 ⑦効率的な水道施設の再構築のため、施設の計画的更新や耐震化を図ります。
主な事業	●定住促進事業 ●民間資金活用集合住宅建設促進事業 ●空家等対策 ●集落水道維持管理 ●市道等整備及び道路維持事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考		
満足度		2.95	0.90	25/28	全体平均値： 3.18		
重要度		4.26	0.73	16/28	全体平均値： 4.31		
ニーズ値		1.32	—	5/28	全体平均値： 1.12 ※ニーズ値=重要度-満足度		
評価エリア	D	現状維持またはあり方を検討する項目		相対評価	Ⅱ ニーズ値は高いが重要度は低い		
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／ 【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す			
		B	優先して改善の必要あり		A	現在の水準を維持する	
年齢別	若年層	1	5	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;">重要度</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">↑ 高</div> <div style="margin-top: 10px;">↓ 低</div> </div> </div>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">2.95, 4.26</div> <div style="margin-left: 10px;"> <p style="text-align: center;">平均値 3.18</p> <p style="text-align: right;">平均値 4.30</p> </div> </div>		
	壮年層	2	5				
高年層	3	7					
職業別	会社員	9	13				
	自営業	3	4				
	公務員	4	9				
	農林水産業	7	18				
	パート	5	4				
	専業主婦	2	3				
	学生	1	4				
地区別	無職	8	4				
	その他	6	4				
	新城地区	1	2				
	柘原地区	6	4				
	垂水地区	4	5				
世帯構成別	水之上・大野地区	5	10				
	協和地区	2	6				
	牛根地区全域	3	4				
	単身	5	11				
	夫婦	3	4				
	親子	2	5				
	親・子・孫	4	8				
	その他	1	4				
				D	現状維持、又はあり方について検討	C	一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		全体的にニーズ値が高く、職業別でも、農林水産業を除く全ての分野においてニーズ値が高い傾向にある。					
評価結果		重要度及び満足度が低く、ニーズ値が高いことから、今後も、居住環境の整備について改善して取り組む必要がある。					

28. 交通の利便性の向上

【政策の概要】

政策の方向	①計画的な市道整備、道路維持事業を進めます。 ②公共交通(路線バス・乗合タクシー)について関係機関と協議し、運行の適正化を図ります。
主な事業	●総合交通対策事業 ●交通安全対策事業 ●橋梁長寿命化事業 ●中央地区雨水対策事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
満足度		2.89	1.04	26/28	全体平均値： 3.18
重要度		4.37	0.73	11/28	全体平均値： 4.31
ニーズ値		1.48	—	3/28	全体平均値： 1.12 ※ニーズ値=重要度-満足度
評価エリア		B	優先して改善を要する項目・		相対評価 I
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／ 【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
		B	優先して改善の必要あり		A
					現在の水準を維持する
年齢別	若年層	2	8	高 4.90 4.80 4.70 4.60 4.50 4.40 4.30 4.20 4.10 4.00 3.90 3.80 3.70 低	満足度 2.70 2.80 2.90 3.00 3.10 3.20 3.30 3.40 3.50 3.60 3.70 高
	壮年層	1	2		
	高年層	3	4		
職業別	会社員	5	3		
	自営業	4	3		
	公務員	2	2		
	農林水産業	3	3		
	パート	7	5		
	専業主婦	6	7		
	学生	1	1		
地区別	無職	9	7		
	その他	8	3		
	新城地区	5	10		
	柘原地区	6	16		
	垂水地区	4	3		
世帯構成別	水之上・大野地区	3	3		
	協和地区	1	1		
	牛根地区全域	2	3		
	単身	4	5		
	夫婦	5	5		
	親子	2	3		
	親・子・孫	1	2		
	その他	3	2		
		D	現状維持、又はあり方について検討		C
					一定の成果がみられる
ニーズ分析結果		全体的にニーズ値が高く、地区別でも、柘原地区を除く全ての地区においてニーズ値が高い傾向にある。			
評価結果		重要度が比較的高いが、満足度が低く、ニーズ値が高いことから、今後は住民のニーズに応じた改善を行うとともに、満足度を高められるような取組が必要である。			

3 今後の居住志向

前回の調査に引き続き、設問29に「あなたは今後も、垂水市に住み続けたいと思いますか？」を設け、「思う」から「思わない」の5段階評価とその理由を尋ねた。

集計結果については、次のとおりである。

(1) 回答状況

		5 : 思う	4 : どちらかといえ ばそう思う	3 : どちらとも いえない	2 : どちらかといえ ばそう思わない	1 : 思わない
回答者数	R5	136件	78件	72件	18件	19件
	R1	314件	164件	192件	56件	32件
回答割合	R5	42.1%	24.2%	22.3%	5.6%	5.9%
	R1	41.4%	21.6%	25.3%	7.4%	4.2%
	差	0.7%	2.6%	▲3.0%	▲1.8%	1.7%

(2) 回答者属性別の集計結果

居住志向についても、年齢別、職業別、地区別、世帯構成別の4属性ごとに分析を行い、平均値を算出した。分析結果は、次のとおりである。

全体平均		
R5	R1	差
3.91	3.89	0.02

	項目	平均値
年齢別	若年層	3.27
	壮年層	3.50
	高年層	4.24

	項目	平均値
職業別	会社員	3.56
	自営業	4.20
	公務員	3.61
	農林水産業	4.25
	パート・アルバイト	3.84
	専業主婦(主夫)	4.16
	学生	3.00
	無職	4.16
その他	3.88	

	項目	平均値
地区別	新城	4.00
	柁原	4.21
	垂水	3.89
	水之上・大野原	3.85
	協和	4.00
	牛根地区全域	3.71

	項目	平均値
世帯構成別	単身	3.94
	夫婦	4.04
	親子	3.82
	親・子・孫	3.92
	その他	3.14

(3) 自由意見記入状況

自由意見は、合計165人が評価の理由を記入している。その主な理由をキーワード設定して整理した。

主な理由	5 思う	4 どちらか と言えば そう思う	3 どちらと も言えな い	2 どちらか と言えば そう思わ ない	1 思わな い	未記入	合計
生まれ育ったまち（故郷）だから	29	16	0	0	0	0	45
住みやすい（住み慣れた）	12	4	6	0	0	0	22
自然環境（自然の恵み）	5	2	2	0	0	0	9
生活基盤	10	2	5	0	0	0	17
地域の絆（人情）	3	3	1	1	0	0	8
高齢化	0	0	1	3	1	0	5
垂水市が好き	2	1	0	0	0	0	3
交通環境	0	2	5	3	3	0	13
医療・介護・福祉の環境	0	1	3	1	1	0	6
商業環境	0	0	2	0	1	0	3
税金	0	0	0	0	0	0	0
教育環境	2	0	1	0	0	0	3
自然災害を危惧	0	0	0	0	0	0	0
住環境（ゴミ分別等）	0	0	0	0	0	0	0
雇用	1	0	2	0	1	0	4
理由なし	1	0	2	0	1	0	4
その他	6	2	7	4	3	1	23
件 数 (比 率)	71 (43.03%)	33 (20.00%)	37 (22.42%)	12 (7.27%)	11 (6.67%)	1 (0.61%)	165 (100.00%)
	63.03%		22.42%	13.94%		0.61%	—

(4) 評価・分析まとめ

① 回答状況について (36ページ参照)

令和元年調査時と比較して、「住み続けたいと思う」の割合は0.7%上昇し、「どちらかといえばそう思う」についても、2.5%上昇した。一方、「どちらかといえばそう思わない」の割合は1.9%減少し、「住み続けたいと思わない」は1.6%上昇している。また「どちらともいえない」の割合が3.1%減少している。この結果、「居住志向がある(5・4を選択)」とした人が、合計104人(63.0%)、「居住志向がない(2・1を選択)」とした人が、合計23人(13.9%)という結果となった。

② 回答者属性別の集計結果について (36ページ参照)

回答者属性別の平均値を算出してみると、年齢別は「高年層」になるに連れての居住志向が強まっており、職業別では、農林水産業と自営業において平均値が高くなっており、本市で職業に応じた資産形成されていることに伴う居住志向が反映されていると推測される。地区別の項目を見てみると、「柘原地区」が最も高くなっている。

③ 自由意見記入状況について (37ページ参照)

居住志向がある回答者の主な理由の傾向は、「生まれ育ったまち・ふるさと」・「住みやすい」という意見が多数であった。

一方、居住志向がない回答者の傾向は、「交通ネットワークへの不満」や「高齢化社会における医療・介護等への不安」「商業施設や娯楽施設の少なさ」といった意見がある。

なお、記入された意見の主なものを掲載しており、自由意見については、意見の原文を、別途「令和5年度市民満足度調査結果報告書 資料集」としてまとめる。

④ まとめ

回答結果のうち「住み続けたいと思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合は、全体の約6割を占めており、前回実施時と同様に、居住志向は高いと言える。

しかし、前述のとおり、「垂水市に住み続けたいと思わない」と考える割合が増加していることから、住み続けたいと思わない理由として挙げられたことに対して改善を行い、居住志向を高めていく取組みが必要である。

4 令和5年度市民満足度調査総括

令和5年度の市民満足度調査では、本市の長期指針として平成30年からの10年間を展望し、策定された第5次垂水市総合計画のもと、政策別に分析、評価を行い、今後の施策推進のための方向性等を示すことで、基本計画や実施計画に反映されることを期待している。

ここでは、総括として、上記の結果から優先し重点化して取り組んでいく政策についてまとめる。

なお、政策ごとに詳細な分析を行いたい場合には、本データを配布できるので、更なる政策の確実な実行に役立てていただきたい。

(1) 調査全般に関する評価

今回の調査は、28の政策展開ごとに評価を行い、9つの政策ごとに自由意見を求める方式で実施した。政策分析と回答者の負担軽減を図るため、28の政策で重要度、満足度の評価をいただき、9つの政策区分で意見記述をいただいた。

回答方法に関しては、今回から郵送回答とWeb回答の2種類の回答方法を設定したが、結果として、郵送による回答が76%（251件）、web回答が21%（70件）、その他窓口等への持参による回答が3%（10件）となり、郵送による回答が多い結果となった。

今後は調査対象者の負担軽減のためにも、web回答の推進や、調査表の更なる改善が必要である。

(2) 全体分析における政策評価（令和5年度市民満足度調査分）

一般的に政策の重要度が高く、満足度が低いものは、早急に対策を講ずるべきという判断がなされる。設定したニーズ値は、この重要度と満足度の差であり、これを社会的ニーズとして定義している。

●ニーズ値の高い上位10政策については、次表のとおりである。

◎全体分析／ニーズ値（重要度－満足度）

順位	政策名	ニーズ値	重要度順位	満足度順位
1位	10. 市内産業の振興と企業誘致の推進	1.663	12位	28位
2位	11. 就労の促進と多様な働き方の支援	1.639	5位	27位
3位	28. 交通の利便性の向上	1.481	11位	26位
4位	20. 災害に強い都市基盤の整備	1.439	2位	16位
5位	27. 快適な居住環境の整備	1.317	16位	25位
6位	21. 災害後の復旧・復興対策の迅速な対応	1.269	1位	3位
7位	19. 地域防災力の向上	1.202	3位	2位
8位	1. 農業における経営基盤確立による経営規模の拡大	1.193	17位	23位
9位	17. 介護予防、生きがいづくりの推進と居宅サービスの充実	1.191	4位	5位
10位	18. 障害者等福祉の充実	1.166	10位	13位

●重要度の高い上位10政策については、次表のとおりである。

◎全体分析／重要度

順位	政策名	重要度 平均値	二一ズ値 順位	満足度順位
1位	21. 災害後の復旧・復興対策の迅速な対応	4.654	6位	3位
2位	20. 災害に強い都市基盤の整備	4.640	4位	16位
3位	19. 地域防災力の向上	4.610	7位	2位
4位	17. 介護予防、生きがいつくりの推進と居宅サービスの充実	4.547	9位	5位
5位	11. 就労の促進と多様な働き方の支援	4.478	2位	27位
6位	16. 健康づくりの推進と医療体制の充実	4.466	24位	1位
7位	25. ごみ処理対策の推進	4.446	16位	4位
8位	12. 子育て環境の整備・支援と母子保健の推進	4.439	13位	9位
9位	22. 安心して暮らせる社会の構築	4.409	12位	12位
10位	18. 障害者等福祉の充実	4.399	10位	13位

●満足度の高い上位10政策については、次表のとおりである。

◎全体分析／満足度

順位	政策名	満足度 平均値	二一ズ値 順位	重要度順位
1位	16. 健康づくりの推進と医療体制の充実	3.508	24位	6位
2位	19. 地域防災力の向上	3.409	7位	3位
3位	21. 災害後の復旧・復興対策の迅速な対応	3.386	6位	1位
4位	25. ごみ処理対策の推進	3.364	16位	7位
5位	17. 介護予防、生きがいつくりの推進と居宅サービスの充実	3.356	9位	4位
6位	15. 歴史民俗文化財や埋蔵文化財の保存・活用と芸術文化活動の推進	3.331	28位	28位
7位	23. 環境美化の推進	3.304	18位	13位
8位	24. 生活排水処理対策と河川、海の水質保全の推進	3.299	17位	14位
9位	12. 子育て環境の整備・支援と母子保健の推進	3.299	13位	8位
10位	6. 水産業における産品の高付加価値化	3.276	25位	22位

(3) まちづくりの進め方について

第5次垂水市総合計画を実現していくための「まちづくりの進め方」に関する回答について検証を行った。

	まちづくりの進め方	ニーズ値	重要度	満足度
1	市民と行政の協働によるまちづくり	1.117	4.111	2.994
2	健全で安定した行財政運営の推進	1.120	4.161	3.040
3	隣接市等との広域連携の推進	1.213	4.283	3.070

ニーズ値及び重要度の平均値は、「3 隣接市等との広域連携の推進」において高い傾向にあり、市民の関心及びニーズの高さがみられることから、今後も、近隣自治体との連携推進を行うことにより、産業振興、医療・福祉対策などの広域的な相互連携が可能となり、更なる市民生活の利便性の向上につながる事が考えられます。

また、「市民と行政の協働によるまちづくり」において、自由記述に「もっと市民の声を」といった意見が多数あったことから、今後もアンケート等を通じて、市民の皆様の声に耳を傾け、住み続けたいと思うまちづくりを推進します。

(4) まとめ～令和5年度市民満足度調査から見える優先し重点化して取り組む政策～
これらの結果から、第5次垂水市総合計画に掲げた「まちづくり」の基本目標ごとに優先し取り組む政策をニーズ値の高い順に2政策ずつ掲げる。

なお、ここに掲げた政策は、今後の第6次垂水市総合計画基本計画、実施計画に反映されるべきものであると考えられることから、継続して取り組む必要がある。

まちづくりの分野	基本計画の政策名
産業振興 ～地域資源を活かした賑わいのあるまち～	10 市内産業の振興と企業誘致の推進
	11. 就労の促進と多様な働き方の支援
教育文化 ～次世代の担い手を育成・支援するまち～	12. 子育て環境の整備・支援と母子保健の推進
	13. 生きる力を育む質の高い教育の推進と青少年の健全育成
安心安全・健康福祉 ～安心していきいきと暮らせるまち～	20 災害に強い都市基盤の整備
	21 災害後の復旧・復興対策の迅速な対応
生活環境 ～豊かな自然の恵みを次世代に受け継ぐまち～	27 快適な居住環境の整備
	28. 交通の利便性の向上

今回調査においては政策分析と回答者の負担軽減を図るため、28の政策展開で重要度、満足度の評価をいただき、9つの政策区分で意見記述をいただいた。今後も、より多くの市民ニーズを捉えるために、継続して政策に関する意識の向上に努め、調査・分析を重ねる必要がある。

結果分析としては、前回調査において重要度及びニーズ値が最も高かった「防災力の充実」に該当する項目は、今回の調査で、満足度が非常に高く、各施策の成果がみられる。

また、前回同様に、「医療体制の充実」に該当する項目の満足度が非常に高く、平成29年度から始まった「たるみず元気プロジェクト」が継続して効果が実感できること

が考えられる。

そして、今回の調査で重要度及びニーズ値が上位となった、「就労の促進と多様な働き方の支援」はコロナ禍における多様な働き方の普及により、意識の向上に繋がったものと考えられる。

